



新任職員…インタビュー

新任の方のインタビューを掲載しました。
これからも宜しくお願いします。

愛の聖母園に入職して

兒童指道員

愛の聖母園に入職し、半年が過ぎ去った。

帰ってきた後に学校での出来事を話していくと、子どもたちから沢山話しかけて貰って嬉しかったことを今でも覚えていました。それから、休日に自分で書いたり作ったものを見せてくれたりなど沢山のことを教えてもらいました。

半年経つて

兒童指導員 西村 知奈

先輩職員の方々に多くのことを教えていただきたり相談させていただいています。子どもたちとの関わり方や声掛けなど、おおざまなことを勉強させていただいております。私は子どもたちと生活を共にしながら、わつてみたい、といつ思いがあり、入職を決めました。子どもたちの成長を間近で見ることができる喜びを感じます。今後も沢山の思い出をつくり、子どもたちに信頼をしてもらえる職員となれるよう日々の関わりを大切にしていきたいです。先輩方から学んだことを活かし、自分自身も子どもたちと共に成長できるよう励んでまいります。

に嬉しかったのは「知奈ちゃんがこのホームに来てくれて良かつた」と言われたことです。就寝前だったので言った本人は覚えていないかもせんが、私は忘れるはないでしょ^。素直で素敵な子どもたちの人生に関わることができて幸せだと改めて感じました。

愛の聖母園の児童指導員として子どもたちと生活を共にするようになって、半年が経ちました。初めの頃は職員としての業務を覚えることで精一杯で、振り返ってみるとあまり余裕がなかつたかもしません。

「疲れた顔してね」 とおもせたら言われた
いじめあつがした。

た、私が困っている時には「大丈夫?」といふに距離が縮まっているように思います。まことにかけてくれる優しい子どもたちにいつも助けてもらっています。生活を一緒にするなかで、子どもたちの持っているパワーに圧倒される時もあり、日がぐるしい日々を過ごしています。しかしながら、日常の出来事や一緒に遊んだり行事に参加したりお祝いをしたりなど多くの思い出をつくれることができ、充実した毎日を過ごすことができています。

業務にも少ししづつ慣れてきたように感じ、じ

